

使用薬剤が限られている場合の治療期間

使用できる薬剤			治療期間 (菌陰性化＝結核菌培養検査陰性化)
INH	RFP	PZA	
○	×	－	菌陰性化後18ヶ月
×	○	○	菌陰性化後6ヶ月間または 治療開始後9ヶ月間 } いずれか長い方
×	○	×	菌陰性化後9ヶ月間または 治療開始後12ヶ月間 } いずれか長い方
×	×	－	感受性のある薬剤を3剤以上併用することが出来る場合 菌陰性化後18ヶ月間
(多剤耐性)			

薬剤耐性がある場合は、薬剤感受性のあるものを4剤以上用いて治療を行う。薬剤選択の順番はINH、RFP、PZA、SM、EB、LVFX、KM、TH、EVM、PAS、CSとするが、SM、KM、EVMは同時に用いることはできない。RFPに副反応がある場合には(RBT)を用いる。DLMは、患者の結核菌がINH及びRFPに対し耐性を有する場合に限って使用する。DLM以外の3剤以上併用して、これを使用することを原則とする。

